

# 享保版假名神代紀について (二)

— 下巻 翻字 —

下巻 (第二冊)

△一表△

- ① やまとぶみまきのついでふたつ
- ② かみよのしも
- ③ あまてらすおほんがみのみこ、まさやあかつくのはや
- ④ ひあまのおしほみゝのみにこと、たかみむすびのみにこと
- ⑤ のみむすめ、たくはたちゝひめをとりて、あまつひこほ
- ⑥ のにゝぎのみにことをあれます。かれみおや。たかみむす
- ⑦ びのみにこと。ことにめぐしとおぼすみごゝろをおきて。
- ⑧ もてかたてひたし玉ふ。つひにすめみま。あまつひこほの

△裏△

- ① にゝぎのみにことをたてゝ。もてあしはらのなかつくにの
- ② きみとせんとおぼす。しかれども、そのくに、さはにほ
- ③ たるびのかゝやくかみ、をよびさはへなすあしきかみ
- ④ あり。また。くさ。き。ことゝゝゝ、よくものいふことあり。かれ

\*1) 杉浦克己

- ⑤ たかみむすびのみにこと。やそろかんたちをめしつどへて、
- ⑥ とはしての玉はく。あれあしはらのなかつくにの、あしき
- ⑦ ものをはらひむけしめんとおもふ。まさにたれをつかは
- ⑧ さばよけん。ねがはくは、いましもろかんたち、しらんところ

△一表△

- ① をなかくしましそ。みなまうさく。あまのほひのみにこと
- ② これかみのすぐれたるなり。こゝろみ玉はざるべけんや。こゝに
- ③ ふしてもろゝのことにしたがひ。すなはちあまのほひの
- ④ みことをもて、ゆいてむけしむ。しかれどもこのかみ、おほ
- ⑤ あなむちのかみにおもねりこびて、みとせになるまで、
- ⑥ なほかへりことまうさず。かれしきりに、そのこおほせいひ
- ⑦ のみくまのうしをつかはす。『天人此云干志』またのなはたけみ
- ⑧ くまのうし。これまたかへりて。そのかぞにおもねりて、つひ

△裏△

- ① にかへりことまうさず。かれたかみむすひのみにこと、さら

②にもろかむたちをつとへて。まさにつかはすべきものを  
 ③とひ玉ふ。みなまうさく。あまのくにだまのこ、あめわかひ  
 ④こ。これたけきひとなり。こゝろみ玉へ。こゝにたかみむす  
 ⑤びのみこと。あめわかひこに、あまのかごゆみ、をよびあま  
 ⑥のはゞやをたまはりて。もてつかはす。このかみまたまめ  
 ⑦ならず、いたりてすなはち。うつしくにだまのむすめ、した  
 ⑧てるひめをとつて、「まなのなはたかひめまた／のなはわかくにたま」  
 よてとゞまりていはく。

△三表△

①あれまた、あしはらのなかつくにをおさめんとおもふと。  
 ②つひにかへりこまうさず。このときに。たかみむすびの  
 ③みこと。そのひさしくかへりこまうしに、まうこざる  
 ④ことをあやしみ玉ひ。すなはちなゞしきじをまたし  
 ⑤てみせ玉ふ。そのきじとびくだりて。あめわかひこが、かどの  
 ⑥まへにたてる、「種此云二／多底妻二」ゆつかつらのすゑにをれり、  
 木／此云二  
 ⑦「可豆／遷一也」ときにあまのさぐめ「天探女此云二阿／麻能左愚謎二」  
 みて、あめわか

△三裏△

①すゑにおりぬ。あめわかひこ、すなはちたかみむすびのみ  
 ②ことの玉ひし。あまのかごゆみあまのはゞやをとりて、きじ  
 ③をいてころしつ。そのや。きじのむねをとほりて、たかみむ  
 ④すびのみことのましますまへにいたる。ときにたかみ  
 ⑤むすびのみこと、そのやをみそなはしての玉はく。このや  
 ⑥はすなはちいんさき、わが。あめわかひこに玉ひしやなり。

⑦ち。ちそのやにぬれり。けだしくにつかみと。あひたゝかひて  
 ⑧しかるや。こゝにやをとりて、かへしてなげおろし又ふ。その

△四表△

①やおちくだり、すなはちあめわかひこがたかむなさきに  
 ②たちぬ。ときにあめわかひこ。にはなひして。ねふせるとき  
 ③なり。やにあたりて、たちどころにかくれぬ。これひとのいは  
 ④ゆる。かへしやいむべしといふことのもとなり。あめわかひこ  
 ⑤がつましたるびめ、なきかなしふこゑ、あめにきこゆ、この  
 ⑥ときにあまのくにだま、そのおらぶをきつて、すなはち  
 ⑦かのあめわかひこ、すでにかくれたることをしりて。すな  
 ⑧はちはやちをやりて、かばねをあげあめにいたさしむ。

△四裏△

①すなはちもやをつくりてもかりす、すなはちかはがりを  
 ②もてきさりもち。をよびはゞきもちとし。「あるにいはく。には／とり  
 をもてきさ」  
 ③「りもちとし。かはがりを／もてはゞきもちとす、」またすゞめをもて  
 つきめとす。「あるに／いはく。」  
 ④「すなはちかはがりをもてきさりもちとし。またはゞきもちとし。そび  
 を／もてものまさとし。すゞめをもてつきめとし。さゞきをもてなきめ  
 とし。」

⑤「とびをもてわたつくりとし。からすをもてしゞびと／とす。すべても  
 ろ／＼のとりをもてことよざす」しかうしてやうかやよ、  
 ⑥なきかなしひしたふ。これよりさき、あめわかひこ。あしはら  
 ⑦のなかつくにゝありしとき。あちすきたかひこねのかみと  
 ⑧うるはし。「味耜此云二／婀娜須岐二」かれあちすきたかひこねのかみ。  
 あめ

## 〈五表〉

- ①にのぼりてもをとふらふ。ときにこのかみのかたち。まさに
- ②あめわかひこの、いけりしときのよそほひにたり。かれ
- ③あめわかひこのちゝはゝ。うからやから、めこ、みなおもはく、
- ④あがしなぎはなほまし／＼けりといひて。ころもひもに
- ⑤よぢかゝり。かつよろこび、かつまどふ。ときにあぢすき
- ⑥たかひこねのかみ、いかりおもほでりしていはく。ともが
- ⑦きのみちことわり。むべあひとふらふ。かれけがらはしき
- ⑧をはゝからずして。とほうよりきかなしふ。なんすれぞ、

## 〈五裏〉

- ①われをむなしきひとにあやまつといひて、そのはかせる
- ②おほはがりをぬきて、「刈此云我里」またの／なはかんとつるぎ」も  
てもやをきり

- ③ふせつ。これすなはちおちてやまとなる、いまみのゝくに、
- ④あゆみのかはかみにある。もやまこれなり。ひと、いけるひと
- ⑤をもて、まかれるひとにあやまつことをいむ。これそのこと
- ⑥のもとなり。このゝちに、たかみむすびのみこと。さらに
- ⑦もろかむたちをつどへて。まさにあしはらのなかつくに
- ⑧に。つかはすべきものをえらひ玉ふ。みなまうさく、いはさく

## 〈六表〉

- ①「磐裂此云」以簸婆裏」ねさくのかみのこ、いはつゝを、いはつゝ  
めのあれま

- ②せるこ、ふつ「經津此云」賦都」ぬしのかみ。これよけん。ときに  
あまの

- ③いはやにすむかみ、いづのをばしりのかみのこ。みかのはや
- ④ひのかみ、みかのはやひのかみのこ、ひのはやひのかみ、

- ⑤ひのはやひのかみのこ、たけみかづちのかみます。このかみ、
- ⑥すゝみてまうさく、あにたゝ。ふつぬしのかみのみ、ひとり
- ⑦ますらをにして、やつかれはますらをにあらずや。その
- ⑧ことばいきざしはげし。かれもてすなはち、ふつぬしの

## 〈六裏〉

- ①かみにそへて、あしはらのなかつくにをむけしむ。ふたはしら
- ②のかみ。こゝにいつものくにのいださのをばまにあま
- ③くだりまして、とつかのつるぎをぬきて、さかしまにつちに
- ④つきたてゝ。そのさきにうちあぐみにゐて、おほあなむち
- ⑤のかみにとひての玉はく。たかみむすびのみことすへみま
- ⑥ごをくだしまつりて、このくにゝきみとし玉はんとおぼす。
- ⑦かれまづわれふたはしらのかみをつかはして、はらひしづめ
- ⑧しむ。いましのこゝろいかん。さりまつらんや。いなや。ときにお

## 〈七表〉

- ①ほあなむちのかみ、こたへてまうさく。まさにわがこにとふ
- ②て、しかうしてのちに、かへりこまうさん。このときに、その
- ③ことしろぬしのかみ。あるきて、いつものくにみほ「三穂／此云」
- ④美／保」のさきにあり。つりするをもてわざとす。あるにいはいく
- ⑤とりのあそびするをわざとす。かれくまののもろたぶね
- ⑥をもて「またのなはあ／まのはとふね」つかひいなせはぎをのせて。や  
りて
- ⑦たかみむすびのみことのりを。ことしろぬしのかみに
- ⑧いたし。かつはかへりこまうさんことばをとふ。ときに

## 〈七裏〉

- ①ことしろぬしのかみ、つかひにかたりていはく。いまあめ
- ②のかみ、このとひ玉ふみことのりあり、わがかぞよろし

③くさりまつり玉ふべし。あれまたたがひまつらじ。よて  
 ④うみのなかに、やへあをふしがきをつくりて「栗此云」／「府蟹」  
 ⑤ふなのへをふんで「船柁此云」／「浮那能倍」さんぬ。つかひすでにかへりて、

⑥かへりことまうす。かれおほあなむちのかみ、すなはちそ  
 ⑦のこのまうすことをもて、ふたはしらのかみにまうして  
 ⑧の玉はく。あがたのめしこだにも、すでにさりまつりぬ。

〈八表〉

①かれあれまたさりまつるべし。もしあれほせがましかば、  
 ②くにのうちのもろかんたち、かならずまきにおなじく  
 ③ほせぎてん、いまあれさりまつる。たれかまた、あへてま  
 ④つろはぬものあらんといひて。すなはちくにむけしとき  
 ⑤につけりし、ひろほこをもて、ふたはしらのかみにさづ  
 ⑥けたてまつりての玉はく。あれこのほこをもて、つひにこ  
 ⑦となせることあり。あめみま。もしこのほこをもちひて。  
 ⑧くにをおさめ玉はゞ、かならずさきくましさん、いまあれ

〈八裏〉

①まさにもゝたらぬやそくまぢにかくれなん。「隈此云」／「矩磨堊」いひ  
 ②をはりてつひにかくれましぬ。こゝにふたはしらのかみ、もろ  
 ③く／＼のまつろはぬかむたちをつみなふて、「あるにいはく。ふたはし  
 らのかみ、つひに」  
 ④「あしきかみ。をよびくさきいはのたぐひをつみなふて。みなすでにむ  
 けを／＼はんぬ。そのうへなはぬもの。たゞほしのかみかゞせをのみ。か  
 れまたしつり」  
 ⑤「がみたけはづちのみことをつかはせは、すなはちうへなひぬ。かれふ  
 たはしらの／＼かみ。あめにのぼる。倭文神此云」／「斯圖梨俄未」

⑥つひに。もてかへりことまうす。ときに、たかみむすびのみ  
 ⑦こと。まどこおふすまをもて、すへみま、あまつひこほの  
 ⑧にゞぎのみことにおほひて、あまくだりまさしむ。すへみま、

〈九表〉

①すなはち、あまのいはくらをおしはなち、「天磐座此云」／「阿麻能以簸矩羅」

②またあめのやへぐもおしわけ、いづのちわけにちわ

③きて、ひふがの。そのたかちほのだけに、あまくだります。

④すでにして。すへみまいですすかたちは、すなはちくしひ

⑤のふたがむの。あまのうきはしより。うきにまりたひら

⑥にたゞして。「立於浮渚在平處此云」／「羽企爾磨梨陀毗邏而陀陀志」そ

じゝのむなく

⑦にを、ひたをからくにまぎとほり、「頓丘此云」／「毘陀鳥寛國此云」矩磨儀一行

⑧「去此云」／「膳褒屢」あだのながや、かさゝのみさきにいたります、

そのくに

〈九裏〉

①にひとあり。みづからことかつくながさとなる。

②すへみまとひての玉はく、くにありや、いなや、こたへてまう

③さく、こゝにくにあり。こふみごゝろのまゝにみたせ。かれ

④すへみまついてとゞまります。ときにそのくにゝ。をとめ

⑤あり。なをば、かあしつひめといふ。「またのなは、かみあだつひめ。また／＼のなは。このはなさくやひめ。」

⑥すへみま、このをとめにとふての玉はく。いましはたがむす

⑦めぞや。こたへてまうさく。やつこはこれ、あめのかみ、おほ

⑧やまづみのかみをめとりて。うめるところのこなり。すへ

## 〈十表〉

- ① みまよてめす。すなはちひとよにしてはらみぬ。すへみま、
- ② いつはりならんとおぼしての玉はく。またあめのかみと
- ③ いふとも。なんぞよくひとよのからに、ひとをしてはらま
- ④ せんや。いましがはらめる、かならずあがこにあらじ。かれ
- ⑤ かあしつひめ、いかりうらみまつり。すなはちうつむろを
- ⑥ くつり。そのなかに、こもりて、うけひていはく。やつこはら
- ⑦ める。もしあめみまのみにあらずは。かならずまさに
- ⑧ やけぼろびん。もしまことにあめみまのみこならば、ひも

## 〈十裏〉

- ① そこなふことあたはじ、すなはちひをつけてむろをやく。
- ② はじめておこる、けふりのすゑより。なりいづるみこを。ほの
- ③ すそりのみことゝなづく、「これはいとらがとほつおやなり。火／くは閼降えんかう
- ④ にほとほりをさけてゐたるときに。なりいづるみこを、
- ⑤ ひこほゝでみのみことゝまうす。つぎになりいづるみこ
- ⑥ を、ほのあかりのみことゝなづく「これ。をはりのむらじ／らがとほつ
- ⑦ みはしらのみこます。ひさしくまし／て。あまつひこほの
- ⑧ にゝぎのみこと。かみあがりましぬ。よてつくしのひふが

## 〈十一表〉

- ① のえの「かあいこれ愛此／云いふ埃えと」みさゝきにをさめまつる。
- ② あるふみにいはく。あまてらすおぼんがみ。あめわか
- ③ ひこにみことのりしての玉はく。とよあしはらのなかつ
- ④ くには。これあがこのきみたるべきくになり。しかるを
- ⑤ おもんみるに。ちはやふるあしきかみどもあり。かれい

- ⑥ まし。まづゆきてむけよとの玉ひて。すなはちあまの
- ⑦ かごゆみをよびあまのまかごやをたまひてつかはす。
- ⑧ あめわかひこ。みことのりをうけてくだりて。さはに

## 〈十一裏〉

- ① くにつがみのむすめをとりて、やとせになるまで。かへり
- ② ことまうさず。かれあまてらすおぼんがみ。すなはちおもひ
- ③ がねのかみをめして。そのまうこざるかたちをとひ玉ふ。
- ④ ときにおもひがねのかみ、おもふてまうしてまうさく。
- ⑤ よろしくまた。きじをつかはしてとひ玉ふべし。こゝに
- ⑥ かのかみのはかりことにしたがひ。すなはちきじをつ
- ⑦ かはして、ゆきてみせしむ。そのきじとびくだりて。あめ
- ⑧ わかひこがかどのまへの。ゆつかつらのきのすゑに

## 〈十二表〉

- ① ゐて。なきていはく。あめわかひこ、なんのゆゑぞやとせ
- ② のころ。いまだかへりことまうさぬ。ときにくにつがみあり。
- ③ あまのさぐめとなづく。そのきじをみていはく。ねなき
- ④ あしきとり。このきのうへにをりぬ。いころしつべし。あめ
- ⑤ わかひこ。すなはちあめのかみの玉ひし。あまのかごゆみ。
- ⑥ あまのまかごやをとりて。すなはちいころしつ。すなはち
- ⑦ やきじのむねをとほりて。つひにあめのかみのみもとに
- ⑧ いたる。ときにあめのかみ。そのやをみそなはしての玉はく。

## 〈十二裏〉

- ① これいんさき。あがあめわかひこにたまひしやなり。
- ② いまなにのゆゑに。きたらんと玉ひて。すなはちや
- ③ をとりてほぎての玉はく。もしきたなきこゝろをもて
- ④ いば。すなはちあめわかひこ、かならずまじこれなん。もし

- ⑤ きよきこゝろをもていば。すなはちさきくあらん。よて  
 ⑥ かへしすて玉ふ。すなはちそのやおちくだりて。あめわ  
 ⑦ かひこが。たかむなさにたちぬ。よてもてたちどこ  
 ⑧ ろにかくれぬ。これひとのいはゆる。かへしやいむべしと  
 十三表

- ① いふことのもとなり。ときにあめわかひこがめことも。  
 ② あめよりくだりきたりて、かばねをもてのぼりゆきて。  
 ③ あめにもやをつくりて。もかりしなく。これよりさき  
 ④ あめわかひこ、あぢすきたかひこねのかみとうる  
 ⑤ はし。かれあぢすきたかひこねのかみ。あめにのぼり  
 ⑥ てもをとふらひみなきす。ときにこのかみ。かたちおの  
 ⑦ づから。あめわかひこと、ひとしくあひにたり。かれあめ  
 ⑧ わかひこがめこたち。みてよろこびていはく。あがし

## 十三裏

- ① なぎは、なほまし／＼けりと。ころもひもによぢかゝり。  
 ② おしはなつべからず。ときにあぢすきたかひこねの  
 ③ かみ。いかりていはく。とものがきうせたり。かれわれすなはち、  
 ④ きとふらふ。いかなぞ。まかるひとをあれにあやまつやと  
 ⑤ いひて。すなはちとつかのつるぎをぬいて。もやをきり  
 ⑥ たふす。そのやおちてやまとなる。これすなはちみの  
 ⑦ のくにの。もやまこれなり。ひとまかれるひとをもて。  
 ⑧ おのれにあやまつことをいむ。これそのことのもとなり。

## 十四表

- ① ときにあぢすきたかひこねのかみ。てりうるはしく  
 ② して。ふたをふたにのあひだに、てりかゝやく。かれもに  
 ③ つどへるひと。うたよみしていはく。あるにいはくあぢ

- ④ すきたかひこねのかみのいろと。したてるひめつどへる  
 ⑤ ひとをして。をたに／＼。てりかゝやくは、これあぢすきたか  
 ⑥ ひこねのかみとしらしめんとおもふ。かれうたよみし  
 ⑦ ていはく。あもなるや。をとたなばたの。うながせる。  
 ⑧ たまのみすまるの。あなたまはやみ。たにふたわた

## 十四裏

- ① らす。あぢすきたかひこね。またうたよみしてい  
 ② はく。あまさかる。ひなつめの。いわたらすぞ。いし  
 ③ かはかたふち。かたふちに。あみはりわたし。めよろし  
 ④ に。よしよりこね。いしかはかたふち。このふたうたは。  
 ⑤ いまひなぶりとなづく。すでにして。あまてらすお  
 ⑥ ほんがみ。おもひがねのかみのいろと。よろづはた  
 ⑦ とよあきつひめのみことをもて。まさやあかつ／＼  
 ⑧ のはやひあまのおしほみ／＼のみことにあはせて。

## 十五表

- ① みめとして。あしはらのなかつくに／＼。あまくだりまさ  
 ② しむ。このときに。かつのはやひあまのおしほみ／＼の  
 ③ みこと。あまのうきはしにた／＼して。ほぜりての玉  
 ④ はく。そのくにはさやげり。いなかぶし。しこめきく  
 ⑤ かとの玉ひて。すなはちさらにかへりのぼりて。つぶ  
 ⑥ さにあまくだりまさ／＼かたちを。まうし玉ふ。かれ  
 ⑦ あまてらすおほんがみ。またたけみかづちのかみ。  
 ⑧ をよびふつぬしのかみをまたして。まづゆいて

## 十五裏

- ① はらはしむ。ときにふたはしらのかみ。いづものくに／＼  
 ② あまくだり。すなはちおほあなむちのかみにとひて

- ③ の玉はく。いましこのくにをもて。あめのかみにたて
- ④ まつらんやいなや。こたへてまうさく。あがこ。ことしろ
- ⑤ ぬしとりのあそびして。みつのさきにあり。いまま
- ⑥ さにとひてもてかへりこまうさん。すなはちつかひ
- ⑦ をまたしてとふ。こたへてまうさく。あめのかみのこひ玉ふ
- ⑧ ところ。なんぞたてまつらざらんや。かれおほあなむち

十六表

- ① のかみ。そのこのことばをもて。ふたはしらのかみに
  - ② かへりこまうす。ふたはしらのかみ。すなはちあめに
  - ③ のぼり。かへりこまうして。まうさく。あしはら
  - ④ のなかつくには。みなすでにむけをはんぬと。ときに
  - ⑤ あまてらすおほんがみ。みことのりしての玉はく。もし
  - ⑥ しからば。まさにあがこをあまくだしまつるべし。また
  - ⑦ くだしまさんとすまるに。すへみま。すでにうまれ
  - ⑧ 玉ふ。みなを。あまつひこほのにゝぎのみことゝまうす。
- 十六裏
- ① ときにまうすことありての玉はく。このすへみまを
  - ② もて。かへてくだしまさんとおもふと。かれあまてらす
  - ③ おほんがみ。すなはちあまつひこほのにゝぎのみこ
  - ④ とに。やさかにのまがたま。をよびやたのかゞみ。くさ
  - ⑤ なぎのつるぎ。みくさのたからものをたまふ。また
  - ⑥ なかとみのとほつおや。あまのこやねのみこと。いむ
  - ⑦ へのとほつおや。ふとだまのみこと。さるめのとほつおや。
  - ⑧ あまのうすめのみこと。かゞみつくりのとほつおや。
- 十七表
- ① いしこりどめのみこと。たますりのとほつおや。たま

- ② やのみこと。すべていつともなふのかみたちをもて。
- ③ そへはんべらしむ。よてすへみまにみことのりして
- ④ の玉はく。あしはらのちいほあきのみづほのくには。
- ⑤ これあがうみのこのきみたるべきくになり。よろし
- ⑥ くいましすへみままいでましてしろしめすべし。さき
- ⑦ く。あまつひつぎのさかへまさんこと。まさにあめつち
- ⑧ と。きはまりなかるべし。すでにしてあまくだりま

十七裏

- ① さんとするところに。みさきばらいのかみ。かへりてま
  - ② うさく。ひとりのかみあり。あめのやちまたにをれり。
  - ③ そのはなのがさなゝあた。そびらのながさなゝひろ
  - ④ あまり。まさになゝひろといふべし。また。くち、かくれ。あ
  - ⑤ かりてれり。まなこは、やたのかゞみのごとくにして。
  - ⑥ てりかゝやけること。あかかゞちにたり。すなはち
  - ⑦ みもとのかみをまたして。ゆいてとはしむ。ときに
  - ⑧ やそよろづのかみたちあり。みなまがちてあひとふ
- 十八表
- ① ことをえず。かれことに。あまのうすめにみことのり
  - ② しての玉はく。いましはこれ、ひとにまがてるかみ
  - ③ なり。よろしくゆいてとふべし。あまのうすめ。すなは
  - ④ ちそのむなぢをあらはにして。もひもを。ほその
  - ⑤ したにおしたれ。あざわらひてむかひたつ。このとき。
  - ⑥ ちまたのかみとふての玉はく。あまのうすめ。いまし
  - ⑦ かくすることは、なんのゆゑぞや。こたへてまうさく。
  - ⑧ あまてらすおほんがみのみこ。いでまするみちに。
- 十八裏

- ① かくをることあるはたそや。あへてとふ。ちまたのかみ  
 ② こたへての玉はく。あまてらすおほんがみのみこ。いまいで  
 ③ ますべしときゝたてまつる。かれむかへたてまつりて  
 ④ あひまつ。あがなはこれさるたひこのおほんがみ。ときに  
 ⑤ あまのうすめ。またとひてまうさく。いましまさにあれに  
 ⑥ さきだちてゆかんや。はたわれ、いましにさきだちてゆ  
 ⑦ かんや。こたへての玉はく。あれさきだちてみちひらき  
 ⑧ ゆかん。あまのうすめ、またとふてまうさく。いましは

## 十九表

- ① いづこにいたりませんぞや。すへみまいづこにいたりま  
 ② さんぞや。こたへての玉はく。あめのかみのみこは。まさに。  
 ③ つくしのひふがの。たかちほのくしふるのだけにより  
 ④ ますべし。あれはいせのさながたのいすゞのかはかみにい  
 ⑤ たるべし。よての玉はく。あれをあらはしするものはいま  
 ⑥ になり。かれいまし。もてあれをおくりていたすべし。あ  
 ⑦ まのうすめ。かへりまうでかへりこまうす。すへみま  
 ⑧ こゝにあまのいはくらををしはなち。あめのやへぐもを
- 十九裏
- ① おしわけ。いづのちわけにちわけて。あまくだります。つ  
 ② ひにさきにちぎりしごとく。すへみますすなはちつくしの  
 ③ ひふがの。たかちほのくしふるのだけにいたります。その  
 ④ さるたひこのかみは。いせのさながたのいすゞのかはかみに  
 ⑤ いたります。すなはちあまのうすめのみこと。さるたひこ  
 ⑥ のかみの。こはしのまにく。つひのもてあひおくる。ときに  
 ⑦ すへみま。あまのうすめのみことにみことのりすらく。いまし  
 ⑧ よろしく。あらはしつるかみのなをもて、かばねとすべし。

## 二十表

- ① よてさるめのきみのなをたまふ。かれさるめのきみら  
 ② のをとこをんな。みなよんできみとす。これそのことの  
 ③ もとなり。『高胸此云多歌武娜婆ノ歌一頗傾也此云歌矛志二』  
 ④ あるふみにいはく。あめのかみ、ふつぬしのかみ。たけみ  
 ⑤ かづちのかみをまたして。あしはらのなかつくにをしづ  
 ⑥ めしむ。ときにふたはしらのかみまうさく。あめにあし  
 ⑦ きかみあり。なをあまつみかほしといふ。またのなは  
 ⑧ あまのかゞせを。こふまづ。このかみをつみなふて。しかう

## 二十裏

- ① してのちにくだりて。あしはらのなかつくにをはらはん。  
 ② このときに。いはひのかみを。いはひのうしとまうす。  
 ③ このかみ。いまあづまのかんとりのくにゝます。すでに  
 ④ して。ふたはしらのかみ。いづものいださのをばまに  
 ⑤ あまくだりて。おほあなむちのかみにとふていはく。い  
 ⑥ まし。まさにこのくにをもて。あめのかみにたてまつ  
 ⑦ らんや。いなや。こたへてまうさく。うたがはし。いまし  
 ⑧ ふたはしらのかみ。これあがもとにきませるにあらじ。
- 二十一表
- ① かれゆるすべからすと。こゝにふつぬしのかみ。かへりの  
 ② ぼりて。かへりこまうす。ときにたかみむすびのみ  
 ③ こと。すなはちふたはしらのかみをかへしつかはし。お  
 ④ ほあなむちのかみに。みことのりしての玉はく。いま。  
 ⑤ いましがまうすことをきくに。ふかくそのことわりあり。  
 ⑥ かれさらにをちくにしてみことのりし玉ふ。それい  
 ⑦ ましがしれるあらはにのことは。よろしくこれ。すへみま



⑧ しらすべし。いましは。もてかみのことをしるべし。また

△二十一裏◇

- ① いましは。あまのひずみのみやにすむべし。いまつくり  
 ② まつらんこと。すなはちひろのたくなはをもて。ゆひても、  
 ③ むすびあまり。やそむすびにせん。そのみやをつくる  
 ④ のりは。はしらはたかくふとく。いたはひろくあつく  
 ⑤ せん。またみたつくらん。またいましが。かよひてうみに  
 ⑥ あそばんそなへのために。たかはしうきはし。をよび  
 ⑦ あまのとりぶねまたつくらん。またあまのやそがはに。  
 ⑧ またうちはしつくらん。またもゝぬひあまり。やそぬ

△二十二表◇

- ① ひのしらたてつくらん。またいましがまつりをつかさ  
 ② だらんものは。あまのほひのみことこれなり。こゝに  
 ③ おほあなむちのかみ。こたへてまうさく。あめのかみ。  
 ④ の玉ふことかくねんごろなり。あへておほせごとにした  
 ⑤ がはざらんや。あがしれる。あらはにのことは。すへみま。ま  
 ⑥ さにしろしめすべし。あれはまさに。しりぞいてかくれ  
 ⑦ たることをしらん。すなはちふなどのかみを。ふたはし  
 ⑧ らのかみにすゝめてまうさく。これまさにあれにかはり

△二十二裏◇

- ① てつかふまつるべし。あれまさにこれよりさりなんと  
 ② いひて。すなはちみにみづのやさかにおひて。ながく  
 ③ かくれましき。かれふつぬしのかみ。ふなどのかみを  
 ④ もて。くにのみちびきとしめぐりつゝたひらぐ。した  
 ⑤ がはぬものあるをば。すなはちまたころし。まつろふ  
 ⑥ ひとをば。しきりにまたほむ。このときに。まつろふひ

⑦ とこのかみ。おほものぬしのかみ。をよびことしろ  
 ⑧ ぬしのかみ。すなはちやそよろづのかみを。あまの

△二十三表◇

- ① たけちにあつめ。ひきゐてもてあめにのほりて。  
 ② そのまことのいたりをまうす。ときにたかみむすび  
 ③ のみこと。おほものぬしのかみに、みことのりすらく。  
 ④ いまし。もしくにつがみをもてつまとせば。あれ。なほ  
 ⑤ いましを。うときこゝろありとおもはん。かれいま。あが  
 ⑥ むすめ。みほつひめをもて。いましにあはせてつまと  
 ⑦ せん。よろしくやそよろづのかみたちをひきゐて。  
 ⑧ ひたふるに。すへみまのためにまもりまつるべしと

△二十三裏◇

- ① の玉ひて。すなはちかへりくだらしむ。すなはちきの  
 ② くにの。いむべのとほつおや。たおきほおひのかみを  
 ③ もて。さだめてかさぬひとし。ひこさちのかみを。たて  
 ④ ぬひとし。あまのめひとつのかみを。かなだくみとし。  
 ⑤ あまのひわしのかみを。ゆふつくりとし。くしあかる  
 ⑥ だまのかみを。たますりとす。すなはちふとだまの  
 ⑦ みことをして。もてよはがひなに。ふとだすきをと  
 ⑧ かけ。みてしろにして。もてこのかみをまつらしむるは。はじ

△二十四表◇

- ① めてこれよりおこれり。またあまのこやねのみことは。  
 ② かみのことののみもをつかさどるかみなり。かれふ  
 ③ とまにのうらをもて。つかへまつらしむ。たかみむすび  
 ④ のみこと。よてみことのりしての玉はく。あれは。あまつ  
 ⑤ ひもろぎ。をよびあまついはさかをおこしたてて。ま

- ⑥ さにすへみまのためにいはひまつらん。いましあま  
 ⑦ のこやねのみこと。ふとだまのみこと。むべあまつひ  
 もろぎをたちて。あしはらのなかつくに、くんだりて。

## △二十四裏

- ① またすめみまのためにいはひまつれ。すなはちふた  
 はしらのかみをして、あまのおしほみゝのみことに  
 ③ そへて。もてくだしまさしむ。このときに。あまてらす  
 ④ おほんがみ。みてにたからのかゞみをもち玉ひ。あま  
 ⑤ のおしほみゝのみことにさづけまつりて。ほぎての  
 ⑥ 玉はく。あがこ。このたからのかゞみをみまさんこと。ま  
 ⑦ さにあれをみるがごとくすべし。ともにみゆかをおな  
 ⑧ じくし。みあらかをひとつにして。もていはひのかゞみ

## △二十五表

- ① とすべし。またあまのこやねのみこと。ふとだまのみ  
 ② ことにみことのりすらく。ねがはくは。いましふたはしら  
 ③ のかみ。またおなじく。みあらかのうちにさふらひて。  
 ④ よくほせぎまもることをなせ。またみことのりして  
 ⑤ の玉はく。あがたかまのはらにきこしめすゆにはのい  
 ⑥ なばをもて。またあがこのまかせまつる。すなはち。  
 ⑦ たかみむすびのみことのみすめ。みなは。よろづはた  
 ⑧ ひめをもて。あまのおしほみゝのみことにあはせて。

## △二十五裏

- ① みめとして。あまくだしまつらしむ。かれときに。おほぞ  
 ② らにみ玉ひてみこをうみ玉ふ。あまつひこほのに、  
 ③ ぎのみことゝまうす。よてこのすへみまをもてかぞの  
 ④ みことにかへて。あまくだしまつらんとおぼす。かれあま

- ⑤ のこやねのみこと。ふとだまのみこと。をよびもろとも  
 ⑥ なふのかみたちをもて。ことゝくみなあひさづく。また  
 ⑦ みぞつものひとへにさきのまゝにさづけ玉ふ。しかう  
 ⑧ してのち。あまのおしほみゝのみこと。あめにかへり玉ふ。

## △二十六表

- ① かれ。あまつひこほのに、ぎのみこと。ひふがの。くしひの  
 ② たかちほのだけにあまくだりまして。そじゝのむなそふ  
 ③ くにを。ひたをからくにまぎとほり。うきにまりたひ  
 ④ らにたゝして。すなはちくにのあるじ。ことかつくに  
 ⑤ かつながさをめしてとひ玉ふ。こたへてまうさく。こゝに  
 ⑥ くにあり。ともかくもおほんことのまに、く。ときにすへ  
 ⑦ みま。よてみやをたてこゝにやすみます。のちにうみ  
 ⑧ べたにいでまして。ひとりのをとめをみそなはす。すへ

## △二十六裏

- ① みまとふての玉はく。いましはこれたがむすめぞや。  
 ② こたへてまうさく。やつこはこれおほやまづみのかみ  
 ③ のむすめ。なはかみあだかあしつひめ。またのなはこの  
 ④ はなさくやひめ。よてまうさく。またやつこがいろね  
 ⑤ いはながひめはんべり。すへみまの玉はく。あれいまし  
 ⑥ をもてつまとせんとおもふいかん。こたへてまうさく。  
 ⑦ やつこがかぞおほやまづみのかみはんべり。こふもて  
 ⑧ とひ玉へ。すへみまもておほやまづみのかみにかた

## △二十七表

- ① りての玉はく。あれ。いましがむすめをみそなはす。  
 ② もてつまとせんとおもふ。こゝにおほやまづみのか  
 ③ しみ。すなはちふたりのむすめをして。もゝどりのつ

- ④ くゑものをもたしてたてまつらしむ。ときにすへ  
 ⑤ みま。いろねはみにくしとおほして。めさずしてまげ  
 ⑥ 玉ふ。いろとはかほよしとおぼして。めしてみとあたへ  
 ⑦ ます。すなはちひとよにしてはらみぬ。かれいはながひめ。  
 ⑧ おほきにはぢて。とこひていはく。たとひあめみま。

## △二十七裏

- ① やつこをしりぞけ玉はずしてめさましかば。うめらん  
 ② みこ。みいのちながふして。ときはかきはのごとくに。とき  
 ③ はにまつたからまし。いますでにしからず。たゞいろと  
 ④ ひとりめせり。かれそのうめらんみこ。かならずこのはな  
 ⑤ のあまひにちりおちなん。あるにいはくいはながひ  
 ⑥ めはぢうらみて。つばきいざちていはく。うつしきあを  
 ⑦ ひとくさ。このはなのあまひにしばらくうつろひて  
 ⑧ おとろへなん。これ。ひといのちみぢかきことのもと  
 △二十八表

- ① なり。このゝち。かみあだかあしつひめ。すへみまをみ  
 ② たてまつりてまうさく。やつこ。あめみまのみこを  
 ③ はらめり。わたくしにもてうみまつるべからず。すへみま  
 ④ のゝ玉はく。またあめのかみのみこといふとも。いかに  
 ⑤ ぞひとよにひとをしてはらませんや。はたあがこ  
 ⑥ にあらざるか。このはなさくやひめ。はなはだもてはぢ  
 ⑦ うらみて。すなはちうつむろをつくりて。うけひて  
 ⑧ いはく。やつこはらめる。これもしあだしかみのこならば。  
 △二十八裏
- ① かならずさひはひなけん。これまことにあめみまの  
 ② みこならば。かならずまさにまたくいき玉へといひて。

- ③ そのむろのうちにいりて。ひをつけてむろをやく。  
 ④ ときに。ほのほはじめておこるときにともにみこを  
 ⑤ うむ。ほのすそりのみことゝなつく。つぎにひのさ  
 ⑥ かなるときに。みこをうむ。ほのあかりのみことゝ  
 ⑦ なづく。つぎにみこをうむ。ひこほゝでみのみことゝ  
 ⑧ まうす。またのみなほほのさきのみこと。【齋主此云伊幡毘／頭露  
 此云三阿羅幡】

## △二十九表

- ① 【貳一齋庭此云三阿羅波】  
 ② あるふみにいはく。はじめはじめほのあかるときに。うめるみこ。  
 ③ ほのあかりのみこと。つぎにほむらさかなるときに。  
 ④ うめるみこ。ほのすゝみのみこと。またほのすそり  
 ⑤ のみことゝいふ。つぎに。ほむらさるときに。うめる  
 ⑥ みこ。ほのさきひこほゝでみのみこと。すべてこのみ  
 ⑦ はしらのみこ。ひもそこなふことあたはず。をよび  
 ⑧ いろは。またすこしもそこなふところなし。ときに。  
 △二十九裏

- ① あおびえをもて。そのみこの。ほそのをゝきる。その  
 ② すてしあをびえ。つひにたかはらとなる。かれその  
 ③ ところをなづけて。たかやといふ。ときにかみあだか  
 ④ あしつひめ。うらへだをもて。なづけてさなだといふ。  
 ⑤ そのたのいねをもて。あまのたんぎけをかみてには  
 ⑥ なひす。またぬなだのいねをもて。いひにしては  
 ⑦ なひす。

- ⑧ あるふみにいはく。たかみむすびのみこと。まどこお  
 △三十表

- ① ほふすまをもてあまつひこくにてるひこほのに
  - ② にぎのみことにきせまつり。あまのいはとをひきあげ。
  - ③ あめのやへぐもをおしわけて。もてあまくだります。
  - ④ ときにともものむらじのとほつおや。あまのおしひの
  - ⑤ みこと。くめべのとほつおや。あまのくしづおほくめ
  - ⑥ をひきゐて。そびらに。あまのいはゆきをおひ。たゞ
  - ⑦ むきに。いづのたかがらははき。てに。あまのはじゆみ。
  - ⑧ あまのはゞやをとり。をよびやつめのかぶらをととりそへ
- △三十裏△

- ① またかふづちのつるぎをはきて。あめみまのみさ
  - ② きにたち。ゆきくだりて。ひふがの。そのたかちほの
  - ③ くしひのふたがんのだけあまのうきはしにいたりて。
  - ④ うきにまりたひらにたゞして。そしゝのむなくにを。
  - ⑤ ひたをからくにまぎとほり。あだのながやかさゝの
  - ⑥ みさきにいたります。ときに。そこにひとりのかみ
  - ⑦ あり。なを。ことかつくにかつながさといふ。かれあめ
  - ⑧ みまそのかみにとひての玉はく。くにありや。こたへて
- △三十一表△

- ① まうさく。あり。よてまうさく。おほんことのまに／＼たて
- ② まつらん。かれあめみまそこにとゞまり玉ふ。そのこと
- ③ かつくにかつのかみは。これいざなぎのみことのみこ
- ④ なり。またのなはしほつゝのをち。
- ⑤ あるふみにいはく。あめみま。おほやまづみのかみのむす
- ⑥ め。あだかあしつひめをめす。すなはちひとよにはらみぬ。
- ⑦ つひによはしらのみこをうむ。かれあだかあしつひめ。
- ⑧ みこをいだいてすゝんでまうさく。あめのかみのみこを。

- ① ③十一裏△
  - ① むしろ。もてわたくしにひたしまつるべけんや。かれあり
  - ② さまをまうしてきこゑしむ。このときに。あめみまそ
  - ③ のみこたちをみそなはして。あざわらひての玉はく。あ
  - ④ なにゑやあがみこたち。きゝよくもあれませるかな。
  - ⑤ かれあだかあしつひめ。すなはちいかりての玉はく。なん
  - ⑥ それぞ。やつこをあざけり玉ふや。あめみまのゝ玉はく。
  - ⑦ こゝろにうたがはし。かれあざける。いかんとなれば。また
  - ⑧ あめのかみのみこといふとも。あによくひとよのからに。
- △三十二表△

- ① ひとをしてはらせんや。まことにあがこにあらじ。こゝを
  - ② もてあだかあしつひめ。ます／＼うらみて。うつむろを
  - ③ つくりて。そのなかにこもりて。うけひての玉はく。やつこ
  - ④ はらめる。もしあめのかみのみこにあらずは。かならずや
  - ⑤ けうせん。これもしあめのかみのみこならば。そこなはる
  - ⑥ ることなからん。すなはちひをつけてむろをやく。その
  - ⑦ ほのはじめあかるときに。ふみたけびいづるみこ。みづ
  - ⑧ からなる。あれはこれあめのかみのみこ。なは。ほの
- △三十二裏△

- ① あかりのみこと。あがかぞいづこにましますぞや。つぎに
- ② ほのさかなるときに。ふみたけびいづるみこ。また
- ③ なる。あれはこれあめのかみのみこ。なは。ほのすゝみ
- ④ のみこと。あがかぞ。をよびいろね。いづこにましますや。
- ⑤ つぎに。ほのほしめるときに。ふみたけびいづるみこ。
- ⑥ またなのり玉はく。あれはこれあめのかみのみこ。なは
- ⑦ ほのさきのみこと。あがかぞ。をよびいろねたち。いづ

⑧ こにましますや。つぎに。ほとほりをさるときに。ふみ  
 三十三表

① たけびいづるみこ。またなりの玉はく。あれはこれあめ  
 ② のかみのみこ。なはひこほゝでみのみこと。あがかぞ。を  
 ③ よびいろねたち。いづこにましますや。しかうしてのち。  
 ④ いろはあだかあしつひめ。もえくひのなかよりいでゝ。  
 ⑤ ゆいてことあげしての玉はく。やつこうめるみこ。を  
 ⑥ よびやつこがみ。おのづからひのわざはひにあへども。  
 ⑦ すこしもそこなふところなし。あめみま。あにみそ  
 ⑧ なはしつや。こたへての玉はく。あれははじめより。これ

三十三裏

① あがこなりとしりぬ。たゞひとよにしてはらめり。う  
 ② たがふものあらんとおもひて。ひとをして。みなこれあが  
 ③ みこ。ならびにまた。あめのかみ。よくひとよにして。は  
 ④ らましめしことを。しらしめんとおもひ。またいまし。  
 ⑤ くしひにあやしきかしこさあり。みこたちまた。ひと  
 ⑥ にすぐれたるいきあることをあかさんとおもふ。この  
 ⑦ ゆゑに。さきのひのあざけることばありき。〔梶此云二波ノ草一音之移〕  
 ⑧ 〔反頭梶此云二箇歩豆ノ智一老翁此云二鳥賦一〕

三十四表

① あるふみにいはく。あまのおしほねのみこと。たかみ  
 ② むすびのみことのみむすめたくはたちゝひめよろづはた  
 ③ ひめのみことをとり玉ふ。またいはく。たかみむす  
 ④ びのみことのみむすめ。ほのとはたひめのこと。  
 ⑤ ちゝひめのみこと。しかうして。みこあまのほの  
 ⑥ あかりのみことをうむ。つぎに。あまつひこねほ

⑦ のにゝぎねのみことをうみまつる。そのあまの  
 ⑧ ほのあかりのみことのみこ。あまのかこやまは。  
 三十四裏

① これをはりのむらじらがとほつおやなり。すへみ  
 ② まほのにゝぎのみことを。あしはらのなかつくにに。  
 ③ あまくだしたてまつるにいたるにおよんで。たか  
 ④ みむすびのみこと。やそもろかみたちに。みことの  
 ⑤ りしての玉はく。あしはらのなかつくには。いはねこ  
 ⑥ のもと。かやのかきばもなほよくものいふ。よるは。  
 ⑦ ほべのころにおとなひ。ひるは。さはへなすわき  
 ⑧ あがる。しかく。ときにたかみむすびのみこと。み

三十五表

① ことのりしての玉はく。いんさき。あめわかひこを。あし  
 ② はらのなかつくにゝやりき。いまにひさしくまうこ  
 ③ ざるゆゑは。けだしこれ。くにつがみいむかふものあり  
 ④ てか。すなはちなゝしをきじをまたして。ゆいてみせ  
 ⑤ 玉ふ。このきじとびくだり。よてあはふまめふをみ  
 ⑥ て。とゞまつてかへらず。これよのいはゆるきじの  
 ⑦ ひたづかひのことのとなり。かれました。なゝしめ  
 ⑧ きじをまたす。このきじとびくだりあめわか

三十五裏

① ひこがためにいられ。そのやにあたりて。のぼりて  
 ② かへりことまうす。しかく。このときにたかみむす  
 ③ びのみこと。すなはちまどこおほふふすまをもて。  
 ④ すへみまあまつひこねほのにゝぎねのみことに  
 ⑤ きせまつりて。あめのやへぐもをおしわけて。もて

- ⑥ あまくだりまつらしむ。かれこのかみをなづけて。  
 ⑦ あめくにゝぎしひこほのにゝぎのみことゝまう  
 ⑧ す。ときにあまくだりましゝところをば。ひふがの。  
 三十六表

- ① そのたかちほのそほりのやまのだけといふ。その  
 ② いでますときにおよんで。しかく。あだのかさゝの  
 ③ みさきにいたり。つひにながやのたかしまにの  
 ④ ぼります。すなはちそのところをめぐりみませば。  
 ⑤ そこにひとあり。なを。ことかつくにかつながさと  
 ⑥ いふ。あめみまよてとひての玉はく。これたがくに  
 ⑦ ぞ。こたへてまうさく。これながさがすむくになり。  
 ⑧ しかれども。いますなはち。あめみまにたてまつる。

## 三十六裏

- ① あめみま。またとひての玉はく。そのさきだつる  
 ② なみほのほとりに。やひろのとのたてゝただまも  
 ③ ゆらに。はたおるをとめは。これたがむすめぞや。  
 ④ こたへてまうさく。おほやまづみのかみのむすめた  
 ⑤ ち。あねを。いはながひめとまうし。おとを。このはな  
 ⑥ さくやひめとまうす。またのなはとよあだつひめ。  
 ⑦ しかく。すへみまよてとよあだつひめをめす。す  
 ⑧ なはちひとよにしてはらめり。すへみま。うたがひ玉ふ  
 三十七表
- ① しかく。つひに。ほのすそりのみことをうむ。つぎに  
 ② ほのさきのみことをうみまつります。またのみな  
 ③ は。ひこほゝでみのみこと。いろはのうけひ。すでに  
 ④ いちじるし。まさにしんぬ。まことにこれすへみま

- ⑤ のみこなり。しかるにとよあだつひめ。すへみまを  
 ⑥ うらみて。あひまつらず。すへみま。うれひ玉ひて。  
 ⑦ すなはちうたよみしての玉はく。おきつもは。へには  
 ⑧ よれども。さねどこも。あたはぬかもよ。はまつちど  
 三十七裏

① りよ。燂火此云二褒倍一喧響此云二燂等娜比一五月／蠅此云二左魔陪一  
 添山此云二曾褒里能耶麻一

② 秀起此云二左／岐陀豆屢一

- ③ あるふみにいはく。たかみむすびのみことのみむす  
 ④ め。あまよろづたくはたちはたひめ。あるにいはく。  
 ⑤ たかみむすびのみことのみむすめ。よろづはた  
 ⑥ ひめのこ。たまよりひめのみこと。このかみ。あまの  
 ⑦ おしほねのみことのみめとなりて。みこ。あまの  
 ⑧ きほゝおきせのみことをうみまつる。あるにいはく。

## 三十八表

- ① かつのはやひのみこと。みこあまのおほみゝのみこと。  
 ② このかみ。にぐつひめをとりて。みこほのにゝぎのみ  
 ③ ことをあれます。あるにいはく。かむたかみむすび  
 ④ のみことのみむすめ。たくはたちはたひめ。みこ  
 ⑤ ほのにゝぎのみことをうみまつる。あるにいはく。  
 ⑥ あまのきせのみこと。あだつひめをとりて。みこほ  
 ⑦ のあかりのみことをあれます。つぎに。ほのよおりの  
 ⑧ みこと。つぎに。ひこほゝでみのみこと。  
 三十八裏
- ① あるふみにいはく。まさやあかつかつのはやひあま  
 ② のおしほみゝのみこと。たかみむすびのみことの

- ③ みむすめ。あまよろづたくはたちはたひめをと  
りて。みめとして。みこをうむ。あまてるくにてる
- ④ ひこほのあかりのみことゝなづく。これをはりのむらじら  
がとほつおやなり。つぎに。あめのにぎしくにのにぎしあ
- ⑤ まつひこほのにゝぎのみこと。このかみ。おほやまづみのかみ  
のむすめ。このはなさくやひめのみことをととりて。みめとし玉ひ

三十九表

- ① てみこをうむ。ほのすそりのみことゝなづく。つぎに
  - ② ひこほゝでみのみこと。
  - ③ このかみほのすそりのみこと。おのづからうみのさち
  - ④ あります。『幸此云<sup>かうこれいふ</sup>／左知<sup>さち</sup>』おとのひこほゝでみのみこと。おのづ
  - ⑤ からやまのさちあります。はじめあに。おと。ふたはし
  - ⑥ ら。あひかたりての玉はく。こゝろみにさちがへせんとお
  - ⑦ もふと。つひにあひかふ。おのゝそのさちをえず。この
  - ⑧ かみくゐて。すなはちおとのみことのゆみやをかへして。
- 三十九裏
- ① おのがちをこふ。おとのみこと。ときにすでにこのかみ
  - ② のちをうしなふ。とふらひまくによしなし。かれことに
  - ③ にあしきちをつくりて。このかみにあたふ。このかみう
  - ④ けえずして。そのもとのちをはたる。おとのみこと。うれ
  - ⑤ へて。すなはちそのたちをもて。にあしきちをかたし
  - ⑥ て。ひとみにもりてあたへ玉ふ。このかみいかりての玉はく。
  - ⑦ あがもとのちにあらずは。さはといふともとらじといひ
  - ⑧ て。ますゝまたせめはたる。かれひこほゝでみのみ
- 四十表
- ① こと。うれへますことふかし。ゆきつゝうみべたにさまよひ

- ② 玉ふ。ときに。しほつゝのをちにあひ玉ふをちとふてまうさく。なん
- ③ のゆゑぞ。こゝにましゝてうれへ玉へるや。こたへ玉ふに。
- ④ ことのあるかたちをもてし玉ふ。をちのまうさく。またな
- ⑤ うれへましそ。あれまさに。いましみことのためにたば
- ⑥ からんといひて。すなはちまなしかたまをつくりて。
- ⑦ ひこほゝでみのみことを。かたまのなかにいれて。うみ
- ⑧ にしづむ。すなはちおのづからうましをばまあり。

四十裏

- ① 『可<sup>かれ</sup>怜<sup>れい</sup>此云<sup>こいこれいふ</sup>／師<sup>し</sup>』江<sup>え</sup>此云<sup>こいこれいふ</sup>波<sup>は</sup>麻<sup>ま</sup>』こゝにかたまをすてゝいでま  
す。たちま
  - ② ちに。わたづみのかみのみやにいたり玉ふそのみや。たか
  - ③ がきひめがきとゝのほり。たかどのやてりかゝやけり。か
  - ④ どのまへに。ひとつのゐあり。ゐのほとりに。ひとつのゆ
  - ⑤ つかつらのきあり。えだはしきもし。ときにひこほゝで
  - ⑥ みのみこと。そのこのもについて。よろぼひたゝずみ
  - ⑦ 玉ふ。やゝひさしくして。ひとつのをとめあり。とびらを
  - ⑧ おしひらいていで。つひにたままりをもてきたり。ま
- 四十一表
- ① さにみづをくむ。よてあふぎてみたてまつる。すなはち
  - ② おどろいてかへりいり。そのかぞいろはにまうしてまう
  - ③ さく。ひとつのめづらしきひとまします。かどのまへの
  - ④ このもとにます。わたづみのかみ。こゝにやへだゝみをし
  - ⑤ き。もてひいてゐる。あしづまり玉ひぬるとき。よてそ
  - ⑥ のいでませるみごゝろをとふ。ときにひこほゝでみのみ
  - ⑦ こと。あるかたちをこたへ玉ふ。わだづみのかみ。すなはち
  - ⑧ とほひろくひきいをどもをつどへて。せめとふ。みなまう

## 〈四十一裏〉

- ①さく。しらず。たゞしあかめ「赤女鯛／魚名也」このごろくちのやま  
 ②ひありてまうこず。しひてめし。そのくちをさぐれば。は  
 ③たしてうせたるちをう。すでにしてひこほゝでみのみ  
 ④こと。よてわたづみのかみのみむすめ。とよはたひめを  
 ⑤めす。よてわたづみのみやにとゞまり玉へること。すでに  
 ⑥みとせになんぬ。そこに。またやすらかにたのしといへ  
 ⑦ども。なほくにおもふみごろます。かれときに。また  
 ⑧はなはだげきます。とよたまひめきいて。そのか

## 〈四十二表〉

- ①ぞにかたりてまうさく。あめみまいたんで。しば／＼なげ  
 ②き玉ふ。けだしくにおもひ玉ふうれへありてか。わた  
 ③づみのかみ。すなはちひこほゝでみのみことをひいて。  
 ④おもふるにまうしてまうさく。あめみま。もしくにゝかへ  
 ⑤らんとおぼさば。あれまさにおくりまつるべし。すな  
 ⑥はちうるところのちをたてまつる。よておしへまつり  
 ⑦てまうさく。このちをもて。いましみことの。このかみに  
 ⑧あたへ玉はんときに。ひそかにこのちをいひて。まちゝ  
 ④十二裏〉
- ①との玉ひて。しかうしてのちにあたへ玉へ。また。しほみ  
 ②つに。をよびしほひるにをたてまつりて。をしへまつ  
 ③りてまうさく。しほみつにをつけば。すなはちしほ  
 ④たちまちにみたん。これをもて。いましみことのこの  
 ⑤かみをおぼゝせ。もしこのかみくいてのまばかりへて。し  
 ⑥ほひるにつけば。すなはちしほおのづからひん。これを  
 ⑦もてすくひ玉へ。かくなやまし玉はゝ。いましみことの

## ⑧このかみしたがひなん。まさにかへりまさんとするに

## 〈四十三表〉

- ①をよんで。とよたまひめ。あめみまにかたりてまうさく。  
 ②やつこすではらめり。こうまんときひさしからじ。  
 ③やつこかならずかぜなみ。はやからんひをもて、うみべ  
 ④たにいでいたらん。こふ。やつこがために。うぶやをつくりて  
 ⑤あひまち玉へ。ひこほゝでみのみこと。すでにもとつみや  
 ⑥にかへりまして。ひとへに。わたづみのかみのをしへにした  
 ⑦がふ。ときにこのかみほのすそりのみこと。すでになや  
 ⑧まされて。すなはちしたがひてまうさく。いまよりゆく

## 〈四十三裏〉

- ①さき。われまさに。いましみことのわざをきのたみた  
 ②らん。こふ。いけ玉へ。こゝにねがひのまゝに。つひにゆるす。  
 ③そのほのすそりのみことは。すなはちあたのきみ。を  
 ④ばしらがとほつおやなり。のちにとよたまひめ。はた  
 ⑤してさきのちぎりのごとく。そのいろと。たまよりひめ  
 ⑥をひきゐて。たゞに。かぜ。なみををかして。うみべたに  
 ⑦いたるこうむときにをよびて。こふてまうさく。やつこ。  
 ⑧こうむときに。ねがはくは。なみましそ。あめみま。なほ  
 ④十四表〉
- ①しのび玉ふことあたはずして。ひそかにゆいてうかゞひ  
 ②玉ふ。とよたまひめ。みさかりにこうむとき。たつになり  
 ③ぬ。はなはだはちてまうさく。もしわれをはづかしめ  
 ④玉はざることありせば。うみくがあひかよはしめて。なが  
 ⑤くへだてたつことなからまし。いますではちみす。  
 ⑥まさになにをもてか。むつましきこゝろをむすばんや。



⑦すなはち。かやをもてみこをつゝんで。うみべたにすて  
⑧て。うみのみちをとどて、たゞにさりぬ。かれよてもて。

〈四十四裏〉

①みこをなづけまつりて。ひこなきさたけうかやふき  
②あはせずのみことゝまうす。のちにひさしくましゝ  
③て。ひこほゝでみのみことかみあかりましぬ。ひふがの。  
④たかやのやまのうへのみさゞきにをさめまつる。  
⑤あるふみにいはく。あにほのすそりのみこと。よくう  
⑥みのさちをう。おとのみことひこほゝでみのみこと。  
⑦よくやまのさちをえ玉ふ。ときに。あに。おと。たが  
⑧ひに。そのさちをかへんとおぼす。かれこのかみ。お

〈四十五表〉

①とのみことのさちゆみもちてやまにいりしゝ  
②まく。つひに。しゝのからとだもみず。おとのみこと。  
③このかみのさちちをもち玉ひて。うみにいりいを  
④つる。ことにうるところなし。つひに。そのちをう  
⑤しなふ。このときにこのかみ。おとのみことのゆみ  
⑥やをかへして。おのがちをはたる。おとのみこと。うれ  
⑦へて。すなはちはかせるたちをもて。ちをつくり。  
⑧ひとみにもりて。このかみにあたへ玉ふ。このかみう

〈四十五裏〉

①けずしていはく。なほあがさちちをほしゝ。こゝに  
②ひこほゝでみのみこと。もとめんとををしらず。  
③たゞうれへさまよひ玉ふことます。すなはちゆき  
④つゝ。うみべたにいたりて。たゞずみながきます。と  
⑤きにひとりのおきなあり。たちまちにいたる。み

⑥づから。しほつゝのをちとなのる。すなはちとふて  
⑦まうさく。きみはこれたそ。なんのゆゑに。こゝに  
⑧うれへますや。ひこほゝでみのみこと。つぶさにその

〈四十六表〉

①あるかたちをの玉ふ。をちすなはちふくろのなかの  
②くろぐしをとりて。つちになげしかば。いほつたかは  
③らになりぬ。よてそのたけをとりて。おほまあら  
④こをつくりて。ほゝでみのみことをこのなかにいれ  
⑤まつり。うみにつれまつる。あるにいはく。まなしかた  
⑥まをもて。うけきにつくりて。ほそなはをもて。  
⑦ほゝでみのみことをゆひつけまつりてしづむ。い  
⑧はゆるかたまは。これいまのたけのこなり。ときに

〈四十六裏〉

①わたのそこに。おのづからうましをばまあり。すな  
②はちはまのまにゝいでます。たちまちに。わた  
③づみのかみとよたまひこのみやにいたります。そ  
④のみや。かきやたかくかざり。たかどのうてなさかり  
⑤うるはし。かどのほかにありぬのかたはらにかつら  
⑥のきあり。すなはちこのもとについてたち玉ふ。  
⑦やゝひさしうして。ひとりのをとめあり。かほよに  
⑧すぐれたり。まだちむれしたがひうちよりいづ。

〈四十七表〉

①まさにたまつぽをもてみづをくまんとす。あふひ  
②でほゝでみのみことをみつ。すなはちかへりて。そ  
③のかぞのかみにまうしていはく。かどのまへの。ぬの  
④かたはらのこのもとに。ひとりのよきまうとあり。

- ⑤ かたちたゞびとならず。もしあめよりくだれらば。
- ⑥ まさにあめのかほあるべし。つちよりのぼれらば。
- ⑦ まさにつちのかほあるべし。まことにこれまぐは
- ⑧ し。そらつひこといふものか。あるにいはく。とよた

《四十七裏》

- ① まひめのまかだち。たまつるべをもて。みづをくむ。
- ② つひにみつることあたはず。ふしてゐのなかをみれば。さかしまにひとのゑめるかほてれり。よてもてあふぎみれば。ひとりのかほよきかみまして。かつらのきによりたてり。かれかへりいりて。そのきみにまうす。こゝにとよたまひこ。ひとをまたしてとふてまうさく。まうとはこれたれぞ。なにのゆゑにかこゝにいます。ほゝでみのみことこたへて

《四十八表》

- ① の玉はく。あれはこれあめのかみのみまごなり。
- ② すなはちつひに。いでませるみごゝろをの玉ふ。ときにわたづみのかみ。むかへをがみひいていれまつり。ねんごろにつかふまつる。よてむすめとよたまひめをもて。あはせまつる。かれわたづみのみやにとゞまり玉へること。すでにみとせになんぬ。このゝちに。ほゝでみのみこと。しばゝなげきますことあり。とよたまひめとふてまうさく。あめみまもし

《四十八裏》

- ① もとづくにゝかへらんとおぼすか。こたへての玉はく。しかり。とよたまひめ。すなはちかぞのかみにまうしていはく。こゝにましますたふときまうと。うはつ

- ④ くにゝかへらんとおぼせり。わたづみのかみ。こゝにうみのうをどもをすべつどへて。そのちをもとめとふ。ひとつのいをあり。こたへてまうさく。あかめひさしくくちのうれへあり。あるひはいふ。あかだひうたがはし。これをのめるか。かれすなはちあかめ

《四十九表》

- ① をめして。そのくちをみれば。ちなほくちにありすなはちこれえて。すなはちもてひこほゝでみのみことにたてまつる。よてをしへまつりてまうさく。ちをもて。いましみことのこのかみにあたへ玉はんときに。すなはちとこひいはまく。まちのもと。うゑのはじめ。くるしびのもとゝの玉ひて。しかうしてのちにあたへ玉へ。またいましみことのこのかみ。うみをわたらんときに。あれかならずはやち

《四十九裏》

- ① なみをたてゝ。それをしておぼゝしたしなめん。こゝにほゝでみのみことを。わににのせまつりて。もてもとづくにゝおくりまつる。これよりさき。わかれ玉はんとするときに。とよたまひめ。おもふるにまうしてまうさく。やつこすでにはらめり。まさにかげなみはやからんひをもて。うみべたにいでいたらん。こふ。あがためにうぶやをつくりまち玉へ。このゝちに。とよたまひめ。たはしてそのこ

《五十表》

- ① とのごとききたる。ほゝでみのみことにまうしてまうさく。やつこ。こよひこうまんとす。こふ。なみ

③ ましそ。ほゝでみのみこと。きゝたまはずして。なほ。  
 ④ くしをもてひをともしみそなはす。ときにとよ  
 ⑤ たまひめ。やひろのわにゝなりて。はひもこよふ。  
 ⑥ つひにはづかしめられたるをもて。うらめしとし  
 ⑦ て。たゞに。わたづみのくにゝかへる。そのいろと。たま  
 ⑧ よりひめをとゞめて。みこをひたさしむ。みこの  
 五十裏

① みなを。ひこなぎさたけうかやふきあはせず  
 ② のみことゝまうすゆゑは。かのうみべたのうぶやま  
 ③ たくうのはをもてかやとしてふけり。しかうして  
 ④ いらかいまだふきあはせぬときに。みこすなは  
 ⑤ ちあれませるをもて。かれよてもてなづけたて  
 ⑥ まつる。〔上國此云<sup>じやうこくこれをもいふ</sup>羽／播豆矩<sup>はつくは</sup>備<sup>ひ</sup>〕  
 ⑦ あるふみにいはく。かどのまへに。ひとつのしみづあり。  
 ⑧ ゐのほとりに。もゝえのかつらのきあり。かれひこ  
 五十表

① ほゝでみのみこと。をどつてそのきにのぼりてた  
 ② ち玉ふ。ときにわたづみかみのむすめとよたま  
 ③ ひめ。てにたまゝりをもてきたり。みづをくまん  
 ④ とす。まさにひとかけのゐのなかにあるをみて。  
 ⑤ すなはちあふひでみる。おどろいてつるべをおとし。  
 ⑥ つるべすでにわれくだけぬれども。かへりみず  
 ⑦ してかへりいりて。かぞいろはにかたりていはく。やつ  
 ⑧ こ。ひとりのひと。ゐのかたはらの。きのうへにますを  
 五十裏

② たゞびとならず。ときにかぞのかみきいてあやし  
 ③ みて。すなはちやへだゝみをしきて。むかへいる。ゐ  
 ④ しづまり玉ひぬるとき。よていでませるみごゝろ  
 ⑤ をとふ。あるかたちをこたへ玉ふ。ときにわたづみの  
 ⑥ かみ。すなはちめぐしとおもふこゝろをおこして。ことゝく  
 ⑦ はたのひろもの。はたのさものをめしてとふ。みな  
 ⑧ まうさく。しらず。たゞしあかめくちのやまひあり  
 五十表

① てまうこず。またいはく。くちめ。くちのうれへあり  
 ② すなはちすみやかめしいたして、そのくちをさぐ  
 ③ れば。うしなへるち。たちどころにえつ。こゝにわた  
 ④ づみのかみ。せめていはく。おれくちめ。いまより  
 ⑤ ゆくさき。つりくふことえじ。またあめみまのた  
 ⑥ てまつりものにあづけじ。すなはちくちめをもて。  
 ⑦ おほんものにたてまつらざるゆゑは、これそのこ  
 ⑧ とのもとなり。ひこほゝでみのみこと。かへりま  
 五十裏

① さんとするときにいたりて。わたづみのかみまうし  
 ② てまうさく。いまあめのかみのみまご。かたじけなく  
 ③ あがもとにいます。こゝろのよろこび。いづれの  
 ④ ひかわすれん。すなはちおもへばしほみつに。おもへば  
 ⑤ しほひるにをもて。そのちにそへてたてまつりて  
 ⑥ まうさく。すへみま。やへのくまぢをへだつといふとも。  
 ⑦ ねがはくはより／＼またあひおもほし。なすてたま  
 ⑧ ひそ。よてをしへまつりてまうさく。このちをもて。  
 五十表

五十三表

- ① いましの。このかみにあたへ玉はんときに。まちゞ。ほろ
- ② びち。おとろへちとの玉へ。の玉ひをはりて。しりへでに
- ③ なげすてあたへ玉へ。むかひて。なさづけ玉ひぞ。も
- ④ しこのかみ。いかりをおこして。そこなふこゝろあら
- ⑤ ば。すなはちしほみつにをいだしして。もておぼゝせ。
- ⑥ もしすでになやまんにいたて。めぐみ玉へとこはゞ。
- ⑦ すなはちしほひるにをいだしして。もてすくひ玉へ。
- ⑧ かくせめなやまさば。おのづからしたがひなん。ときに

〈五十三裏〉

- ① ひこほゝでみのみこと。かのにと。ちをうけて。もとつ
  - ② みやにかへりいでまし。ひとへに。わたづみのかみのを
  - ③ しへのまにくまづそのちをもて。このかみに
  - ④ あたへ玉ふ。このかみ。いかりてうけず。かれおとのみこ
  - ⑤ と。しほみつにをいだし玉へば。しほおほきにみちて。
  - ⑥ このかみみづからおぼる。よてこふてまうさく。あれ。
  - ⑦ まさにいましみことにつかへまつりて。やつこたらん。
  - ⑧ ねがはくはいけ玉へ。おとのみこと。しほひるにをいだ
- 〈五十四表〉
- ① し玉へば。しほおのづからひて。このかみかへてた
  - ② ひらぎぬすでにしてこのかみ。さきのことであら
  - ③ ためていはく。あれはこれ。いましみことのあにな
  - ④ り。いかなぞ。ひとのあにとして。おとゝにつかへんや。
  - ⑤ おとのみこと。ときにしほみつにをいだし玉ふ。
  - ⑥ このかみみて。たかやまにゝげのぼる。しほまた
  - ⑦ やまをいる。このかみたかぎにのぼる。しほまた
  - ⑧ きをいる。このかみすでにせまりて。にげさる

〈五十四裏〉

- ① ところなし。すなはちしたがひてまうさく。やつ
- ② かれすでにあやまてり。いまよりゆくさき。やつかれ
- ③ がうみのこ。やそつゞき。つねにまさにいましみこ
- ④ とのわざびとたらん。あるにいはく。いぬびと。こふ
- ⑤ かなしひ玉へ。おとのみこと。かへてしほひるにを
- ⑥ いだし玉へば。しほおのづからひぬ。こゝにこのかみ。
- ⑦ おとのみことの。あやしきいきほひますことをしり
- ⑧ て。つひにもて。そのおとのみことにしたがふ。こゝを

〈五十五表〉

- ① もて。ほのすそりのみことのち。もろくのはい
  - ② とら。いまにいたまるで。すへらみことの。みかきの
  - ③ もとをはなれず。ほゆるいぬしろとして。つかふま
  - ④ つるものなり。ひと。うせたるはりをはたらざる
  - ⑤ は。これそのことのもとなり。
  - ⑥ あるふみにいはく。このかみほのすそりのみこと。
  - ⑦ よくうみのさちをう。かれうみのさちひことな
  - ⑧ づく。おとひこほゝでみのみこと。よくやまのさち
- 〈五十五裏〉
- ① をう。かれやまのさちひことまうす。このかみ。か
  - ② ぜふきあめふるごとに。すなはちそのさちをうし
  - ③ なふ。おとのみこと。かぜふきあめふるといへども。そ
  - ④ のさちたがはず。ときにこのかみ。おとのみことに
  - ⑤ かたりていはく。あれこゝろみに。いましとさちがへ
  - ⑥ せんとおもふ。おとのみこと。ゆるしてよてかふ。とき
  - ⑦ にこのかみ。おとのみことのゆみやをとりて。やま

⑧ にのぞみてしゝかる。おとのみこと。このかみの

〈五十六表〉

- ① ちをとりて。うみにのぞみてうをつる。ともにさち  
 ② をえず。むなしでにしてかへる。このかみ。すなはち  
 ③ おとのみことのゆみやをかへして。おのがちをはたる。  
 ④ ときにおとのみこと。すでにちをうみのなかにうし  
 ⑤ なひて。とふらひもとむるによしなし。かれことに。  
 ⑥ にゐしきち。ちをづくりてあたへ玉ふ。このかみ  
 ⑦ いかりてうけず。もとのちをせめはたる。しかく。  
 ⑧ このときにおとのみこと。うみべたにゆいて。うな

〈五十六裏〉

- ① たれめぐり。うれへさまよふ。ときにかはがりあり。  
 ② わなにかゝりたしなふ。すなはちあはれとおぼす  
 ③ みごゝろをおこして。といへはなちやる。しばらく  
 ④ ありて。しほつゝのをちあり。きたりてすなはちな  
 ⑤ しかたまのをおねをつくりて。ほゝでみのみこと  
 ⑥ をのせまつり。うみのなかにおしはなつ。すなはち  
 ⑦ おのづからにしづみさる。たちまちに。うましみち  
 ⑧ あり。かれみちのまにく。いでます。おのづからに。わた

〈五十七表〉

- ① づみのかみのみやにいたり玉ふ。このときに。わた  
 ② づみのかみ。みづからむかひひいてゐる。すなはち  
 ③ みちのかはやゑをしきて。そのうへにすゑたてま  
 ④ つらしむ。かねて。もゝとりのつくゑものをまうけて。  
 ⑤ もてあるじのいやをつくす。よておもふるにとふ  
 ⑥ てまうさく。あめのかみのみまご。なにのゆゑにか。

⑦ かたじけなくいでましつる。あるにいはく。このごろ。

⑧ あかこかたりていはく。あめみま。うみべたにうれへ

〈五十七裏〉

- ① まずといへども。いつはりまことをしらず。けだしある。  
 ② ことか。ひこほゝでみのみこと。つぶさに。あるかたちを  
 ③ のべ玉ふ。よてとゞまりすみ玉ふ。わたづみのかみ。その  
 ④ むすめ。とよたまひめをもて。あはせまつる。つひに。む  
 ⑤ つまかにしたしみて。すでにみとせになりぬ。まさに  
 ⑥ かへりたまはんとするにいたるにをよんで。わたづみの  
 ⑦ かみ。すなはちたひをめして。そのくちをさぐりしか  
 ⑧ ば。すなはち。ちをえき。こゝに。このちを。ひこほゝで

〈五十八表〉

- ① みのみことにたてまつる。よてをしへまつりてまうさく。  
 ② これをもて。いましみことのこのかみにあたへたまはんと  
 ③ きに。すなはちの玉はく。おほち。すゞのみち。まちゞ。う  
 ④ るけちとの玉ひてをはりて。もてしりへでになげ玉へ。  
 ⑤ すでにして。わにをめしつどへとふていはく。あめのかみ  
 ⑥ のみまご。いまかへりまさんとす。おら。いくかゞうち  
 ⑦ にいたしまつらん。ときにもろくのわに。おのくそながさ。  
 ⑧ みぢかさのまにく。そのひかずをさだむ。なかに

〈五十八裏〉

- ① ひとひろのわにあり。みづからまうさく。ひとひろのう  
 ② にいたしまつるべし。かれすなはち。ひとひろのわにを  
 ③ またして。もておくりまつる。またしほみつに。しほ  
 ④ ひろに。ふたくさのたからものをたてまつり。よて  
 ⑤ にをもちふるさまををしへまつる。またをしへまつりて

- ⑥ まうさく。このかみ。あげたをつくらば。いましみことは。  
 ⑦ くぼたをつくりませ。このかみ。くぼたをつくらば。いま  
 ⑧ しみことは。あげたをつくりませ。わたづみのかみ。

〈五十九表〉

- ① まことをつくして。たすけまつることかくのごとし。  
 ② ときに。ひこほゝでみのみこと。すでにかへりきたし  
 ③ て。ひとへに。わたづみのをしへにしたがひ。よておこなふ。  
 ④ そのゝち。ほのすそりのみこと。ひゝにもてやつれて。  
 ⑤ うれへてまうさく。やつかれすでにまどし。すなはち  
 ⑥ をとのみことにしたがはんと。をとのみこと。ときに  
 ⑦ しほみつにをいだし玉へば。すなはちこのかみ。てを  
 ⑧ あげておぼれくるしふ。かへりてしほひるにをい

〈五十九裏〉

- ① だし玉へば。すなはちやみてたひらぎぬ。これより  
 ② さき。とよたまひめ。あめみまにまうしてまうさ  
 ③ く。やつこすではらめり。あめみまのみこ。あに  
 ④ わだのなかにうみまつるべけんや。かれこうまんと  
 ⑤ きに。かならずきみのみもとにまうでん。もしあが  
 ⑥ ために。うぶやをうみべたにつくりて。もてあひまち  
 ⑦ 玉はゞ。これねがひなり。かれひこほゝでみのみこと。  
 ⑧ すでにくにゝかへりて。すなはちうのはをもてふき

〈六十表〉

- ① うぶやをつくる。やのいらか。いまだふきあはせぬに。  
 ② とよたまひめ。みづからかめにのり。いろと。たまより  
 ③ ひめをひきゐて。うみをてらしていたる。ときにうみ  
 ④ かづきすでにみちて。こうむときみさかりにせまりぬ。これに

- ⑤ よて。ふきあはするをまたずして。たゞにいります。す  
 ⑥ でにしておもふるに。あめみまにまうしてまうさく。  
 ⑦ やつこみさかりにこうまん。こふ。なみましそ。あめみ  
 ⑧ ま。みごゝろにそのことをあやしみ玉ひて。ひそかに

〈六十裏〉

- ① うかゞひ玉へばやひろのわにゝなりぬ。しかもあめ  
 ② みまの。かいまみし玉ふことをしりて。ふかくはぢう  
 ③ らみまつることをいだく。すでに。みこうまれ玉ひて  
 ④ のち。あめみまついてとふての玉はく。みこのな。いかに  
 ⑤ なづけはよけん。こたへてまうさく。ひこなぎさたけ  
 ⑥ うかやふきあはせずのみことゝまうすべし、との玉ひ  
 ⑦ をはりて。すなはちうみをわたりて。たゞにさりぬ。とき  
 ⑧ にひこほゝでみのみこと。すなはちみうたよみして

〈六十一表〉

- ① の玉はく。おきつとり。かもつくしまに。わがいねし。いも  
 ② はわすらじ。よのことゝくも。またいはく。ひこほゝでみ  
 ③ のみこと。をんなをとりて。ちおも。ゆおも。をよびいひ  
 ④ がみ。ゆえびとゝす。すべてもろものをそなはり。  
 ⑤ もてひたしまつる。ときにかりにあだしをみなをとりてちを  
 ⑥ もてみこをひたしまつる。これよに。ちおもをとりて。こをひたす  
 ⑦ ことのもとなり。このゝちに。とよたまひめ。そのみこのきら  
 ⑧ くしきをきゝて。こゝろにはなはだあはれひあがめて。また

〈六十一裏〉

- ① かへりひたさんとおもふ。ことわりにおいてよからず。かれ  
 ② いろとたまよりひめをまたして。きたしひたしまつる。  
 ③ ときにとよたまひめのみこと。たまよりひめによせて。かへし

- ④ うたたてまつりていはく。あかたまの。ひかりはありと。ひと  
 ⑤ はいへど。きみがよそひし。たふとくありけり。すべ  
 てこのふたうたを。なづけて。あげうたといふ。『海鹽此云美知』  
 ⑦ 『跟踏之鈎此云須須能美膩癡駿鈎此云千樓該膩』  
 ⑧ あるふみにいはく。このかみ。ほのすそりのみこと。やま

## 六十二表

- ① のさちをう。おとのほのさきのみこと。うみのさちをう。  
 ② しかく。おとのみことさまよひて。うみべたにます。と  
 ③ きに。しほつゝのをちにあふ。をちとふてまうさく。なん  
 のゆゑぞ。かくうれへますや。ほのさきのみこと。  
 ④ こたへての玉はく。しかく。をちまうさく。またなう  
 ⑤ れへましそ。あれはたはからん。はかりてまうさく。わ  
 ⑥ たづみのかみののれる。すぐれたるうまは。やひろのわ  
 ⑦ になり。これそのはたをたて。たちばなのをど

## 六十二裏

- ① にあり。あれ。まさにかれとともににはからんといひて。  
 ② すなはちほのさきのみことをひみて。ともにゆいて  
 ③ みる。このときに。わにはかりてまうさく。あれはや  
 ④ ひのち。まさにあめみまをわたづみのみやにいた  
 ⑤ しまつらん。たゝあがきみの。すぐれたるうま。ひと  
 ⑥ ひろのわになり。これまさにひとひのうちに。かならず  
 ⑦ いたしたてまつらん。かれいま。やつかれかへりて。かれ  
 ⑧ をしていでこさしめん。むべかれにのりて。うみに

## 六十三表

- ① いる玉へ。うみにいる玉はんときに。わだのなかに。おのづ  
 ② からにうましをばまあらん。そのはまのまにくいでまさ

- ③ ば。かならず。あがきみのみやにいたりまさん。みやのかどの  
 ④ ゐのほとりに。まさにゆつかつらのきあるべし。むべその  
 ⑤ きのほとりについて。ましませと。まうすことをはりて。  
 ⑥ すなはちうみにいりてゆきぬ。かれあめみま。わにの  
 ⑦ まうしのことのまゝに。とゞまりてあひまつこと。すでに  
 ⑧ やひ。ひさしくして。まさにひとひろのわにありてき

## 六十三裏

- ① たれり。よてのりてうみにいる。ことく。に。さきの  
 ② わにのをしへにしたがふ。ときにとよたまひめのまかだ  
 ③ ちあり。たまゝりをもちて。まさにゐのみづをくむ。ひとか  
 ④ げみなそこにあるをみて。くみとることえず。よて  
 ⑤ あふひで。あめみまをみつ。すなはちいりて。そのきみ  
 ⑥ につげてまうさく。やつかれ。わがきみひとり。よく  
 ⑦ すぐれてかほよしとおもひき。いまひとりのまうと  
 ⑧ あり。おほくまされり。わたづみのかみきゝていはく。

## 六十四表

- ① こゝろみにみんといひて。すなはちみつのゆかをまう  
 ② けていれまさしむ。こゝにあめみま。ほとりのゆかに  
 ③ おいては。そのふたつのあしをのごひ。なかのゆかにお  
 ④ いて。そのふたつのおしを。うちのゆかににおいて。まど  
 ⑤ こおほふすまのうへにあぐみ玉ふわたづみのか  
 ⑥ みみて。すなはちこれあめのかみのみまといふこと。  
 ⑦ をしりて。ますくあがめいやまふ。しかく。わたづみの  
 ⑧ かみ。あかめ。くちめをめしてとふ。ときにくちめ。くち

## 六十四裏

- ① よりちをいだしで。もてたてまつる。あかめはすなはち

- ② あかだひなり。くちめは。すなはちなよしなり。ときに
- ③ わたづみのかみ。ちを。ほゝでみのみことにさづけて
- ④ よてをしへまつりてまうさく。このかみのちをかへ
- ⑤ し玉はんときに。あめみますなはちの玉ふべくは。
- ⑥ いましがうみのこ。やそつゞきのうちに。まちゞ。さゝ
- ⑦ まちゞとの玉ひをはりて。みたびつはきてあたへ
- ⑧ 玉へ。またこのかみ。うみにいりてつりせんときに。あ

## 六十五表

- ① めみま。むべうみべたにまして。もてかぜをきをな
- ② し玉へ。かぜをきは。すなはちうそふくなり。かくし
- ③ 玉はゞ。あれ。おきつかぜへつかぜをおこして。はやち
- ④ をもて。おぼらしなやまさん。ほのさきのみこと。かへ
- ⑤ りみたして。つぶさに。わたづみのをしへにしたがふ。
- ⑥ すなはちこのかみ。つりするひにいたり。おとのみこ
- ⑦ と。うみべたにましゝてうそふき玉ふ。ときにはや
- ⑧ ち。たちまちにいたる。このかみすなはちおぼれなや

## 六十五裏

- ① む。いくべきによしなし。すなはちはるかにおとのみ
- ② ことにまうしてまうさく。いましみこと。ひさしく
- ③ うなばらにましゝて。かならずよきげあらん。ねが
- ④ はくはすくひ玉へ。もしわれをいけ玉はゞ。やつかれ
- ⑤ うみのこ。やそつゞき。いましみことの。みかきのもとを
- ⑥ はなれずして。まさにわざをきのためたらん。こゝに
- ⑦ おとのみこと。うそふくことすでにやんで。かぜまた
- ⑧ ふきとゞまりぬ。かれこのかみ。おとのみことのいき

## 六十六表

- ① ほひをしりて。したがひなんとす。おとのみこと。おもほ
- ② どりしてあひいはず。こゝにこのかみ。たふさぎして
- ③ そほにをもて。たなうちにぬり。おもてにぬりて。そ
- ④ のおとのみことにまうしてまうさく。やつかれ。みを
- ⑤ けがすことかくのごとし。ひたふるに。いましみことの
- ⑥ わざをきびとたらん。すなはち。あしをあげてふみ
- ⑦ てそのくるしひのかたちをならふ。はじめしほ。あしに
- ⑧ つくときには。あなうらをなし。ひぎにいたるときには。

## 六十六裏

- ① あしをあぐ。もゝにいたるときには。はしりめぐり。こ
- ② しにいたるときには。こしをもぢへ。わきにいたるとき
- ③ には。てをむねにおき。くびにいたるときには。てをあ
- ④ げてたびろかす。それよりいまにいたるまで。かつて
- ⑤ やむことなし。これよりさき。とよたまひめ。いでみた
- ⑥ して。こうまんとするときに。すへみまにまうして
- ⑦ まうさく。しかゝ。すへみましたがひ玉はずとよたま
- ⑧ ひめ。おほきにうらみてまうさく。あがことをもちひ

## 六十七表

- ① 玉はず。あれにはぢみせつ。かれいまよりゆくさき。
- ② やつこがつかひびと。きみのみもとにいたらば。また
- ③ なかへしましそ。きみのつかひびと。やつこがもとにい
- ④ たらば。またかへさじ。つひに。まどこおほふすま。を
- ⑤ よびかやをもてそのみこをつゝみて。なぎさにおき。
- ⑥ すなはちうみにいりてさりぬ。これ。うみくがあひかよ
- ⑦ はざることもとなり。あるにいはく。みこをなぎさに
- ⑧ おくとはあしゝ。とよたまひめのみこと。みづからいだ



## 六十七裏

- ① きてゆく。やゝひさしうしてまうさく。あめみまの
- ② みこ。このわだのなかにおきまつるべからずといひて。
- ③ すなはち。たまよりひめをしていだかしめて。おくり
- ④ いだしまつる。はじめとよたまひめわかるゝとき。うら
- ⑤ みごとひたふるなり。かれほのさきのみこと。その
- ⑥ またあふべからざることをしめして。すなはち
- ⑦ おくり玉ふみうたあり。すでにかみにみゆ。〔八十連／屬此云三〕
- ⑧ 『野素豆企瓢掌此／云陀毗魔箇須一也』

## 六十八表

- ① ひこなぎさたけうかやふきあはせずのみこと。そのをば
- ② たまよりひめをもてみめとして。ひこいせのみことを
- ③ なしませり。つぎにいないひのみこと。つぎにみけいり
- ④ のゝみこと。つぎにかむやまといはれひこのみこと。すべ
- ⑤ てよはしらのひこがみをなす。ひさしくましゝて。
- ⑥ ひこなぎさたけうかやふきあはせずのみこと。にしの
- ⑦ くにのみやにかみあがりましぬ。よてひふがの。あひら
- ⑧ のやまのうへのみさゞきにおさめまつる

## 六十八裏

- ① あるふみにいはく。まづ。ひこいせのみことをなしま
- ② せり。つぎにいないひのみこと。つぎにみけいりの
- ③ のみこと。つぎにさのゝみこと。また。かんやまと
- ④ いはれひこのみこととまうす。さのとまうすは。こ
- ⑤ れみとしわくましますときのみなり。のちに
- ⑥ あめのしたをはらひたひらげて。やしまをしろ
- ⑦ しめす。かれまたみなをくはへて。かむやまといは

## ⑧ れひこのみこととまうす。

## 六十九表

- ① あるふみにいはく。まづ。いせのみことをなしませり。
- ② つぎにみけのゝみこと。つぎにいないひのみこと。
- ③ つぎにいはれひこのみこと。または。かむやまといは
- ④ れひこほゝでみのみこととまうす。
- ⑤ あるふみにいはく。まづひこいせのみことをなしま
- ⑥ せり。つぎにいないひのみこと。つぎにかむやまと
- ⑦ いはれひこほゝでみのみこと。つぎにわかみけの
- ⑧ のみこと。

## 六十九裏

- ① あるふみにいはく。まづ。ひこいせのみことをなし
- ② ませり。つぎにいはれひこほゝでみのみこと。つ
- ③ ぎにひこい不在ひのみこと。つぎにみけいりの
- ④ のみこと。
- ⑤ やまとふみまきのついてふたつ
- ⑥ 京都 辻勘重郎
- ⑦ 享保四己亥年夏五月吉旦 同 野田彌兵衛
- ⑧ 江戸店町拾軒店 同 太兵衛

(平成六年十月二十五日受理)

## A Study of *Kyohoban-Kanajindaiki* II

— Reprint (2) —

Katsumi SUGIURA

### ABSTRACT

*Kyohoban-Kanajindaiki* is a printed text of the first two books of the *Nihonshoki* published in 1719. This text was translated from Chinese into Japanese, and written in Japanese *Kana* characters.

This study is a reprint of the second book, continuing from the previous number of this journal.